

上手に使おう 横浜の水

～健康と豊かな暮らしは 蛇口から～

「横浜水道中期経営計画(令和6年度～9年度)」(素案) ～皆様の御意見をお聞かせください～

水道局では、「横浜水道中期経営計画(令和6年度～9年度)」の素案をまとめました。

本計画は、持続可能な経営を行うため、市民や事業者の皆様と共有すべき20年から30年後の将来像と、その実現に向けた取組の方向性を示した「横浜水道長期ビジョン」(平成28年3月策定)で描く将来像を具体化するための4か年の実施計画となります。

この度、素案に対する市民の皆様からの御意見を募集します。いただいた御意見を踏まえ、令和6年3月を目途に策定・公表します。

素案(全体版・概要版)の閲覧方法

- 横浜市ウェブページから御覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/org/suido/sonota/keikaku/tyuukikeieikeikaku2.html>

検索 横浜水道 中期計画



※全体版には、水道事業や工業用水道事業における事業や取組の詳細、想定事業量、財政収支計画等を掲載しています。

- 素案(全体版・概要版)の主な配架及び閲覧場所

各区役所(広報相談係)、市民情報センター、水道局の各水道事務所、PRボックス(12 駅:概要版のみ)

御意見の提出方法

- 募集期間 令和6年1月15日(月)～2月13日(火)

横浜市電子申請・提出システム

横浜市電子申請・提出システムから御入力ください。

右の二次元コードからアクセスできます。



Eメール、FAX、郵送

Eメール su-newplan@city.yokohama.jp

F A X 045-212-1157

郵 送 〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10

横浜市役所 20 階 横浜市水道局経営企画課

※お住まいの行政区、年代、本計画に関する御意見を記載のうえお送りください。

書式は問いません。(郵送の場合は、2月13日消印有効とさせていただきます。)

<今後のスケジュール>

- ・3月 意見募集結果の公表、常任委員会報告(原案説明)、計画策定・公表

お問合せ先

水道局経営企画課長 森兼 孝司 TEL 045-671-3119

横浜水道中期経営計画

(令和6年度～9年度)(素案)

～皆さまの御意見をお聞かせください～

水道局では、令和6年度から9年度までを計画期間とする「横浜水道中期経営計画」を策定します。
この度、素案を取りまとめましたので、皆さまの御意見をお聞かせください。

市民意見募集期間

令和6年1月15日(月)～2月13日(火)



全体版には、事業の詳細、想定事業量、財政収支計画等に加え、工業用水道事業について掲載しています。ぜひ、御覧ください。

「全体版」は横浜市
ウェブページで御覧ください

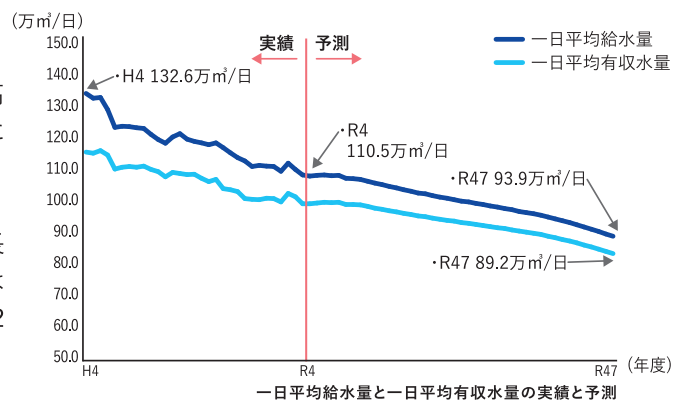
横浜水道 経営計画



1 水道事業を取り巻く環境

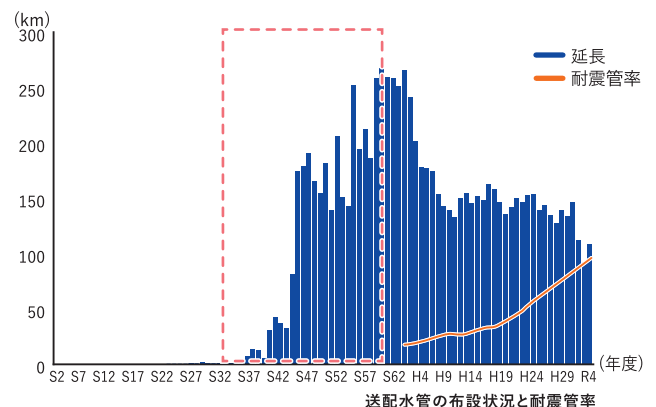
(1) 水需要予測と水道料金収入

- ・一日平均給水量は、節水機器の普及・高性能化や節水意識の高まりなどにより、平成4(1992)年度の132.6万 m^3 /日をピークに減少傾向が続いています。
- ・令和4(2022)年度から令和5(2023)年度にかけて実施した長期の水需要予測では、令和47(2065)年には一日平均給水量は93.9万 m^3 /日、料金請求の対象となる一日平均有収水量は89.2万 m^3 /日まで減少するものと推計しています。
- ・近年の水需要の減少や水需要構造の変化を受け、水道料金収入も減収が続いています。令和3(2021)年7月に料金改定を実施したことにより、令和3(2021)年度・令和4(2022)年度は前年度に比べ増収となりましたが、今後は再び減収に転じることが見込まれています。



(2) 施設の老朽化

本市の水道施設は、昭和30(1955)年代から昭和40(1965)年代後半の高度経済成長期を中心に実施した拡張工事で多くの施設を整備しており、それらが老朽化により順次更新時期を迎えているため、適切に保全・更新を行う必要があります。



2 中期経営計画で目指す姿

(1) 将来を見据えた水道事業の最適化の推進

・本市の水道事業は、横浜水道長期ビジョンの基本理念である「暮らしとまちの未来を支える横浜の水」の実現に向け、再構築という大きな転換期を前に、第1期計画では「将来を見据えた事業運営の検討」を進め、第2期計画では、水道システム再構築を着実に推進できる組織となるよう、運営基盤や財政基盤の強化などの「水道事業の基盤強化」に取り組んできました。

・第3期計画である本計画では、引き続き基盤強化に取り組むとともに、将来を見据えた水道システム再構築による施設の最適化、効率的・効果的な執行体制の構築や業務効率化による運営体制の最適化など、「水道事業の最適化」に向けて事業を推進し、持続可能な事業運営を目指します。

(2) 取組にあたっての視点

主要事業に取り組む際に重視する5つの視点を明確にしています。特に「横浜市中期計画 2022-2025」の基本姿勢に掲げるDXの推進や脱炭素社会の実現についても水道局として重視する視点に位置付けます。

経済性と
公共性の
発揮

SDGs達成
への貢献

多様な主体
との連携

DXの推進

脱炭素社会
の実現

3 施策目標と事業計画

※6つの施策目標を掲げ、各事業を推進していきます。
※事業については、抜粋し掲載しています。

施策目標1 | 安全で良質な水

●道志水源林の保全【拡充】

全国で拡大しているナラ類やシイ・カシ類等の広葉樹が集団枯損する害虫被害(ナラ枯れ)が道志水源林でも見られるため、ドローンを使った被害調査を試行的に行うとともに、被害木は「くん蒸処理」を行い、被害の抑制に取り組みます。

●水質管理体制の維持・強化【拡充】

新たな水質リスクである有機フッ素化合物(PFOS・PFOAなど)について、神奈川県など近隣事業体と連携し、汚染の実態把握や測定体制の強化を図ります。

●西谷浄水場の再整備

西谷浄水場の再整備は令和3(2021)年度より事業を開始し、工事が本格化しています。浄水処理施設と排水処理施設の整備では、ろ過池と排水池の耐震化や粒状活性炭処理の導入に向けて、引き続き事業を進めます。

●子どもたちが水道水を飲む文化を育む事業

教育委員会事務局が実施する小・中学校の屋内水飲み場を受水槽式給水から直結給水へ切り替える工事費の一部について助成します。



水質検査機器による分析の様子

施策目標2 | 災害に強い水道

●基幹施設の更新・耐震化

浄水場や配水池など基幹施設の多くは、高度経済成長期に建設され、老朽化が進んでいるため、更新・耐震化を進めます。

●送配水管の更新・耐震化

送配水管約9,300kmを順次更新・耐震化していきます。災害による被害があった場合に影響の大きい送配水本管(主に口径400mm以上)を優先的に更新・耐震化します。

●耐震給水栓の整備

災害用地下給水タンク、緊急給水栓及び学校受水槽がいずれも整備されていない地域防災拠点等27か所に耐震給水栓を整備します。



送配水管の更新工事

施策目標5 国内外における社会貢献

●国内外水道事業への貢献と市内企業の海外水ビジネス展開支援

- ・国内外水道事業者の課題解決や経営基盤強化に向け、横浜ウォーター(株)やJICAと連携し、職員派遣や研修員の受入れなどを通じて、必要な技術・ノウハウを提供します。
- ・横浜水ビジネス協議会会員企業に対し、企業PR機会の提供や海外水道事業者の課題・ニーズ等の情報提供を行い、海外水ビジネス展開を支援します。

●市内中小企業者の受注機会確保

工事及び委託業務の発注、物品の調達にあたっては、市内経済の活性化に向け、引き続き市内企業への優先発注を基本方針とし、適切な分離・分割発注を行うなど、市内中小企業者の受注機会の確保に取り組みます。



アフリカからの研修員受入の様子

施策目標6 持続可能な経営基盤

●小雀浄水場の廃止に向けた計画の策定【新規】

小雀浄水場について、更新に多額の費用を要することや導水に要するエネルギー消費が大きいこと等を踏まえ、令和22(2040)年度を目途に廃止します。廃止に向けて必要となる施設整備や既存施設の撤去等の取組をとりまとめた計画を策定します。

●水道事業におけるICT活用・DX推進【拡充】

施設の維持管理や技術継承、事務事業等の効率的・効果的な実施に向けて、ドローンを活用したナラ枯れ被害調査、超高感度センサー等を活用した遠隔漏水監視及びロボットを活用した水管橋の点検など、ICT活用・DX推進に積極的に取り組みます。

●人材確保・育成と技術継承

- ・ベテラン職員が持つ技術・ノウハウを次世代に継承するとともに、今後の職員の育成方針について検討します。
- ・将来の水道事業の担い手となる、水道技術職を安定的に採用できるよう、受験者確保に取り組みます。

●事業見直しによるコスト削減

施設のダウンサイジングによる事業費の削減や経常的な経費の徹底した見直しなど、あらゆる視点からコスト削減に取り組みます。



ロボットによる水管橋の点検

今後のスケジュール

市民意見募集期間：令和6年1月15日～2月13日

市民意見募集の実施結果公表、計画策定・公表：令和6年3月

✂----- キリトリ線

②水道局の取組全般について御意見を御記入ください。

①中期経営計画について御意見を御記入ください。

～御協力ありがとうございました～

全体版



横浜水道 経営計画

次の施設でも
ご覧いただけます。

横浜市役所

- ・市民情報センター(3階)
- ・よこはま
建築情報センター(2階)

各区役所広報相談係

水道局

- ・各水道事務所
- ・小雀浄水場、川井浄水場
- ・給水工事受付センター

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。